

◆平成31年の主な高速道路の開通予定区間
輸送効率化に資する高速道路
機能強化目指し「4車線化」進む

平成31年の主な高速道路の開通予定区間をまとめると、表3の通りとなった。全日本トラック協会では昨年より、輸送効率化に資する高速道路の整備について、関係省庁などへの働きかけを強化している。なかでも、暫定2車線区間については、一度事故が発生すると重大事故になる可能性が高いほか、大規模災害発生時には復旧工事に伴う通行

止めが発生することで道路網の途絶に繋がりがやむを得ないことを踏まえ、物流確保の観点から早期の4車線化を働きかけている。4車線化による道路機能の強化により、災害時には並行する一般道路の代替路として機能することでリダンダンシー(多重性)が確保されるほか、対向車線への飛び出し事故防止による安全性の向上、事故・大雪対応およびりリニューアル(大規模

更新)工事に伴う通行止めの減少など、信頼性の向上が図られることとなる。今年各所で4車線化工事が完成し、運用が開始されることとなる(表4)。特に、東海地方と北陸地方を結ぶ東海北陸自動車道では、全長1,805kmのうち、一宮ジャンクション(愛知県一宮市)～飛騨清見インターチェンジ(岐阜県高山市)までの177kmが4車線化されることで、物流の効率化が飛躍的にアップすることが期待されている。

表3 平成31年の主な高速道路の開通予定区間

路線名	区間	距離(km)
東北中央自動車道	南陽高畠IC～山形上山IC	24.4
新東名高速道路	厚木南IC～伊勢原JCT	4.3
中部横断自動車道	新清水JCT～富沢IC	20.7
新名神高速道路	新四日市JCT～亀山西JCT	23.4
東海環状自動車道	大安IC～東員IC	6.4

表4 平成31年の主な高速道路の新規4車線化区間

路線名	区間	距離(km)
館山自動車道	木更津南JCT～富津竹岡IC	20.7
上信越自動車道	信濃町IC～上越JCT	37.5
東海北陸自動車道	白鳥IC～飛騨清見IC※	40.9
高松自動車道	鳴門IC～高松市境	51.8
長崎自動車道	長崎芒塚IC～長崎多良見IC	8.3

(国交省資料、NEXCO3社資料を基に編集部作成)
IC=インターチェンジ、JCT=ジャンクション、SA=サービスエリア
※白鳥IC～高鷲IC間、ひるがの高原SA～飛騨清見IC間は4車線化運用済み。高鷲IC～ひるがの高原SA間の4車線化は未完成(平成30年度運用開始予定)。
また、「平成30年豪雨」により被災した庄川IC～飛騨清見IC間の一部については、暫定的に2車線運用となっている(平成31年度内に工事完成見込み)。

大雪時における新たな「高速道路情報提供サイト」を立ち上げ
3日前から大雪による影響などを発信

東日本高速道路(株)(NEXCO東日本)をはじめとする高速道路各社では今冬から、民間気象情報会社であるウエザーニューズと連携し、大雪時における高速道路の新たな情報提供をスタートさせている。同情報提供は、国や気象台などから大雪に関する緊急発表が行われる大雪の3日前から、高速道路での大雪により通行止め等の影響を道路利用者に対して発信。大雪となる日が近づき、より正確な気象情報が発表されるにつれて、より詳細な道路情報も伝えていく。

同情報は、ウエザーニューズのPC用ホームページ(HP)「ウエザーニューズならびにスマートフォンアプリ「ウエザーニューズタッチ」(無料でダウンロード可。一部サービスは有料)から確認が可能。大雪が見込まれる時には特設サイトが開設され、「大雪情報」や「積雪予想マップ」といったウエザーニューズが提供する気象情報と、「高速道路の規制・通行止め予測」といった高速道路会社が提供する道路情報を確認することができ(写真)。また、特設サイトのリンクから各高速道路会社のHPにアクセスし、より詳細な通行止め予測情報を確認することも可能。



雪の高速道路影響予測

関東甲信地方では明日朝から大雪となる見込みで、東北道や関越道などの内陸を通る路線では明日15時以降、第三京浜や横浜新道、都心の路線でも明日夕方から雪によって通行止めが予想されます。このため、お出かけの際は、必ずタイヤチェーンなどの滑り止めを携行ください。また、明日日中に東北方面に向かわれる方は、常磐道や国道6号などに迂回頂くことをお勧めします。詳しくは、こちらをご覧ください。
NEXCO東日本 首都高速道路



スマートフォンアプリ「ウエザーニューズタッチ」に開設される大雪情報特設サイト(イメージ)

「業務用血圧計」導入促進助成事業対象機器のご案内

貨物自動車運送事業法の改正(平成28年12月16日公布)に伴い、事業者は必要な医学的知見に基づく措置を講じなければならないとされています。

このため、事業者や運行管理者が運転者の健康状態や疾病につながる生活習慣を適切に把握し管理するなど、疾病の早期発見が重要になります。





※平成30年7月1日より行政処分の強化が施行されました。

業務用血圧計用測定管理ソフトの取扱いを開始しました。価格は69,120円(税込み)。

ご注文は日貨協連のホームページまたはファクスにてお申し込みください。

<http://www.nikka-net.or.jp>

FAX 03-3355-2037

<p>(株)エー・アンド・デイ</p>  <p>TM2657P-JC</p> <p>全自動血圧計 診之助 Slim TM2657P-JC (音声なし) 販売価格 100,440円</p> <p>TM2657VP-JC 販売価格 102,600円</p>	<p>オムロンヘルスケア(株)</p>  <p>HBP-9020-JP</p> <p>自動血圧計 健太郎 HBP-9020-JP 販売価格 129,600円</p> <p>HBP-9021-JP 販売価格 194,400円</p>	<p>キヤノンマーケティングジャパン(株)</p>  <p>全自動血圧計 UDEX-i TypeII 販売価格 135,000円</p>	<p>(株)タニタ</p>  <p>全自動血圧計 BP-900 販売価格 172,800円</p>
---	--	---	--

販売価格 **100,440円**より

助成の申請等詳細については、各都道府県トラック協会へお問い合わせください。

お問い合わせは日貨協連総務部・事業部まで TEL: 03-3355-2031/2035 FAX: 03-3355-2037

助成の対象となる業務用全自動血圧計は、特定保守管理医療機器であり、

